

<p>産業宣教: OMC時代の伝道者の生活の体験 (34)「重職者大学院連合礼拝」(使2:10)</p>	<p>聖日1講: 「神の栄光のために」( I コリ10:31)</p>	<p>聖日2講: 「福音に根を張る伝道者」 (コロ2:6-7)</p>	<p>伝道学: 伝道者の生活の体験 (34)「靈性運動と重職者」(使1:8)</p>
<p><b>1. アイデンティティーの確立と聖靈の導き</b> (1) ルカ10:1-20 (2) 使1:14 (3) 使6:1-7 (4) 使11:19 (5) 使13:1 (6) マケドニヤの現場(使16:15、17:6、18:4) (7) ローマの現場(使19:21、23:11、27:24)</p> <p><b>2. 訓練ではなく祈りの答え</b> (1) マタ4:19 (2) マル3:13-15 (3) 使2:9-11 (4) 使18:1-4 (5) 使18:24-28(25-26) (6) I コリ16:19 (7) ロマ16:3-4</p> <p><b>3. 献身ではなく100年の答え、1000年の答え、時代の答え発見</b> (1) 使2:1(五旬節の日) (2) 使2:5(さて) (3) 使2:20(主の大きいなる輝かしい日) (4) 使2:41(その日) (5) 使2:46-47(毎日)</p>	<p><b>* 序論</b> (1)地球上に存在するすべての人間の共通点がある。だれでもみな幸せに暮らすことを望んで、すべての人がみな成功することを望む。 ▲それにほかかわらず、この地にはまた不幸があって、失敗がある。いくら幸せになろうと、成功しようと努力しても、人間の根本的な霊的な問題を知らなければ、その霊的な問題にやられるしかない。 (2)この地にはさまざま宗教に、さまざまな教理がある。 ▲しかし、霊的な問題は宗教で解決できない。 ▲神様は人間の努力で霊的な問題が解決することができないということをご存知で、福音を与えてくださった。 (3)それなら、その恵みを受けた者ならば、今日、私たちの生活の理由は何だろうか。成功しなければならぬ理由は何だろうか。 ▲神様は最高の栄光を備え生活が最も幸せな理由で、存在理由だ。 <b>1.神様の創造主としての創造計画を持っている。</b> (1)創世記1:27-28、神のかたちを持って神様とともにいる存在として造られた。 (2)イザヤ43:7、イザヤ43:21、神様の栄光と賛美のために人間を創造された。 (3)パウロがこれを発見した-ローマ11:36、ロリント10:31 <b>2.人間の根本問題の原因と解答を知っている人が神様に栄光を帰すことができる。</b> (1)ローマ3:23-その事件がまさに創世記3章の事件だ。 1)押し寄せる呪い、災いの勢力を防ぐ方法がない。 ▲聖書は原罪のためだと語っている。 2)未信者は運命に捕えられて抜け出せない。 ▲聖書はサタンに捕えられていれば霊的な自由がないと言われる。 3)行けば行くほど、人生がむなしくて、飢え渴いてさまよいが始まるようになった。 ▲聖書は人間が神様とともに生きるべきなのに、神様を離れたからだと言われる。 (2)人間の方法では、この問題を解決できない。 (3)神様が完全な解答を与えられた。 ▲キリストを送ってくださる(創世記3:15、出3:18、イザヤ7:14、マタイ16:16)。IIコリント5:17私たちは神様の子どもだ。 <b>3.どのように神様に栄光をささげることができるのか</b> (1)礼拝を通して神様に栄光をささげられる(創世記1:17-28、詩150:6) (2)ピリピ1:20、生きるのも、死ぬのも、主のため-神様の御名を他の人に伝える表わすようにすること。 <b>* 結論</b> (1)人生の結論-どんなことをしても神様に栄光をささげる伝道者の生活になることを希望する。 (2)答え、良いこと、困難、苦難の中でも神様に栄光をささげる生活になることを望む。 (3)今から人生を福音で再解釈することを望む。私に与えられた過去の経験と仕事は、感謝の条件として受けることを望む。今日を土台として伝道者の生活を送ることを望む。 (4)伝道者の生活は私の力でなく、使徒18節にあなたたちの力でなく、ただ聖霊の力で、神様の御名を高めて、神様の御名をあかして、伝道者の生活で勝利することを祝福します。</p>	<p><b>* 序論</b> ▲昨日の核心メッセージで、伝道者ははじまりを正しくしなければならぬと言われた。なぜなのか。サタンの第1の戦略は、みなさんがどれくらい大切な人なのかを知らないようにすることだ。(イザヤ43:4)そして第2の戦略は伝道者が違うように始めるようになるのだ。伝道者は正しく始めなければならない。それならば、福音の根をおろさなければならぬ。 ▲なぜ福音の根をおろすべきなのか。私たちには困難、迫害、大きい患難がくることがある。こういうものが、私に問題にならないように、越えられるように祈りなさい。 ①どんなことでも、何をしても使徒1:3、神の国で答えを見つけなさい。それでこそ、神様のみこころ、隠れた計画を発見するようになる。 ②それでは、使徒1:14、祈りに集中できるようにする。 ③それでは、だれも防止できない使徒2:1-47節のみわざが起きるようになる。神様が24時答えられる。 ④こういう祝福が持続すれば、サミットの座に行くしかない。これが秘密の武器だ。伝道者がこの味わって、この奥義を味わわなければならない。 <b>1.未信者がどのように生きているのかを見なさい</b> (1)創世記3章の問題によって悪魔の子どもになってしまった。(ヨハネ8:44) (2)創世記6章の問題によって、生年月日による運命に捕えられてしまった(エペソ2:2) (3)創世記11章、神様に敵対する。だから、エペソ2:3、不安、あせり、心配、憂いがぎっしり埋まる。 (4)申28:60-61、使徒8:4-8、いろいろな病気で苦しめられている。 (5)ヘブル9:27、ルカ16:19-31、一度は死んで、その後には審判を受けるようになる。 (6)出20:4-5、ロリント10:20、偶像崇拝する者は、3-4代までほろびる。 <b>2.聖徒-教われた神様の子ども(異なる人だ)</b> ▲未信者6つの状態から抜け出した祝福を受けた人だ。 (1)マタイ16:16、キリストを(祭司、王、預言者)分ける者 (2)ヨハネ1:12、イエス・キリストを受け入れる者-子ども (3)ロリント3:16、ヨハネ14:16-27、使徒1:8、聖霊で内住、導き、聖霊の満たしをくださって、世界を生かすようにされた。 (4)ヨハネ5:11-13、救いの確信を持って良い。 (5)ヨハネ14:13-14、ヨハネ15:16、ヨハネ16:24、祈りの答えの祝福を与えられた。 (6)マルコ3:13-15、マタイ28:18-20、ルカ10:19、ともにおられて、伝道しながら、悪霊を追い出す権威を与えられた。 (7)ロリント15:57、それで私たちはイエス・キリストの御名で勝利するのでした。 <b>3.みなさんは伝道者だ。</b> (1)完全福音、ただ福音に根をおろしなさい。 (2)本当に祈りの力を(5つの)力持っていなければならない。 (3)伝道者は生かす人(エリシャ、初代教会の伝道者) (4)それで、自負心、自分を誇る心、自尊心を持ちなさい。 (5)みなさんの背景は天国、御座の祝福がある。 <b>* 結論</b> (1)みなさんの根源自体を福音に根をおろしなさい。そうすれば、必ず実を結ぶ。 (2)サタンが隙を狙うとき、完全信仰でたたき壊しなさい。 (3)理由を分ける者になりなさい。それでこそ神様のみこころを見るようになる(使徒13:22)</p>	<p><b>1. 体質を変えなければ失敗</b> (1) 使5:1-11、11:1-18、13:1-4、16:6-10、19:21 (2) 創3章の文化、世の知識、肉体的な力、世の成功だけが象徴されているため(創3、創9、創11) (3) 使13:1-12、16:16-18、19:8-20:8 (勝てない) <b>2. 体質のゆえに「唯(ただ)」でなければ</b> (1) 使1:8、2:1-13 (2) 使4:29-31 (3) 使6:1-7 (4) 使7:1-30 (5) 使12:1-25 (6) 使19:1-7 <b>3. 唯(ただ)でなければ、すべてが土台、祝福、霊的勝利(ピリ3:1-21)</b></p> <p>地域(区域)教材しあわせで楽しい交わり(詩133:1-3)</p> <p>▲私たちの時代の多くの人の悩みは、自分のまわりにまことの友だちがいなくて、多くの人が孤独を感じてうつ病になったりします。人気芸能人の自殺事件は、すでに私たちの社会の大きい問題として台頭しているのですが、彼らの自殺事件の一つがインターネットに飛び交う悪質な書き込みである場合が多いです。重労働の難し、問題に直面しているのに、これをもとに分ちあうまことの友だちがいなくて、ですから、聖徒が集まった小さい共同体が、ともに心を開いて互いに励みあう必要があります。</p> <p><b>1.3おりの場-共に参加しなければなりません。</b> ▲何よりも伝道と福音のための現職を大切に思って、ともにしなければなりません。義務の出発点ですが、恵みと交わりが成される祝福の場であることを知って、ともに参加しなければなりません。詩篇133篇は信仰の兄弟が交わりを分かちあうことがどれくらい美しく、何をよく見えます。イスラエルの民は、この歌をともに歌いながら、神様の恵みの場、祝福の場とともに進みまわりました。ともに交わる場で聖徒の交わりする美しさを見るようになります。</p> <p><b>2.3おりの場-ともに分かちあう場-ならなければなりません。</b> ▲交わりの場は分かちあう場として痛みも分かちあひ、悲しみも分かちあひ、苦しみも分かちあひ、喜びも分かちあひなければなりません。兄弟が一つになって共に進むという言葉は、ともに分かちあうことを言います。ローマ12:15「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。」と言われました。 ごんごの問題は、人々がほとんど個人主義にされているということです。信仰生活は個人主義の生活でなく、ともにする生活、ともに生きる生活で恵みも分かちあひ、悲しみも分かちあひ、喜びも分かちあひの中でみなが互いに励みあう場、力を得ることができず。</p> <p><b>3.3おりの場-祝福の場-ならなければなりません。</b> ▲神様は美しい交わりがある集りに祝福くださいます。3節後半部を見ると「主がここにこころのいのちの祝福を命じられたからである。」と言われていますが、美しい交わりがある所に神様は永遠のいのちをくださると言われました。永遠の祝福は、死んだあとにだけ味わうのではなく、この世で味わう永生の祝福です。永遠のいのちは未だ的であり同時に現世なもので、神様のいのちを味わうことです。</p> <p><b>4.兄弟が一つになる交わりの結果</b> (1)お互いの傷みはやさされます。 ▲詩篇133は、兄弟が一つになって共に進むことより美しいことがないと言いつつ、それはあかかもうと油がえりまわることのようだといいました。(2)節これは油が凍結して使われない、傷のいやしに使われたことと関係が深く、強固な出会った者にも使われました。「ところが、あるサマリヤ人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、近寄って傷を塗り油を落とすと、ほろいしをし、自分の家畜に乗せて帰国に連れて行き、介抱してやった。」(ルカ10:33-34)また不潔な傷をさらに深めます。それは傷をいやす道ではありません。私たちは平和をつくる者は親ですという心がよび従って、いつも平和に努める聖徒でなければなりません。(マタイ5:9) ▲キリストの香りが広がるようになります。 (2)神様は油を処方用でつけられるのではなく、美しい香りを発散するようにさせて、極めて多く使用するようにしましたが、こういう油を香油と言います。「ついでにはモーゼに告げて用せられた。『あなたに、最上の香料を取れ。液体の没薬五百シケル、かおりの強、肉桂その半分—二百五十シケル—、におい普満二百五十シケル、樟脳聖所のシケルで五百シケル、オリーブ油一ペン。あなたはこれらをもって聖なるそそぎの油を、調合させたがって、混ぜ合わせたの香油を作る。これが聖なるそそぎの油となる。』(出30:22-25) 私たちはある女性がこういう大事なお油をイエス様の足に注いで主から大きい奇蹟を受けた事を知っています。(ルカ7:36-50)私たちが主の愛のなかで互いに平和になり、一つになれば、それより美しい香りが無いということでは、使徒19章は十字架の祭典で、キリストの香りを放つ者だと言いました。(IIコリント2:14-15)主は十字架の祭典で血を流されることによって、すべてのことがキリストにあって和解するようになります。今日、私たちがみな、若い職責を主から受けたのです。 (3)いのちが奮闘するようになります。 ▲詩人は兄弟が一つになって共に進むことば「シオンの山々におけるヘルモンの露も似ている」といいました。(3)節この露は砂漠のいのちを存続する程の秘法で、露がおりる所-いのちが生き返ります。 ▲兄弟が和解して、交わりをする所-こういう祝福の場です。私たちがみなキリストの露-一つ一つに成って、お互いの傷みはやされて、キリストの香りを放ついのちの露のような聖徒になります。</p>

(1) 聖日1部(8月25日)→ 三つのことを同時に見た弟子たち (使13:49-52)

▲すべての困難の根本を知って、根本問題を解決して、根本的なことを持つようにする道であることを悟るようにしてください。神様の子どもにくださった祝福の契約を握って祈って、神様に向かった集中と備えられた答えを味わいながら世の中を生かすサミットの祝福を私のこととして味わえますように。まことの祈りの中に入って、世の中とサタン、迫害と苦難、神様の働きを同時に見ながら、正確に備えられている答えを味わって、必ず成就する未来の約束を握るようにさせてください。みことば、祈り、伝道の3つの今日の道しるべについて行くことができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(8月25日)→ 神様の方法 (使14:1-7)

▲すべての問題の原因である創世記3章の事件とサタンが働く通路を知って、霊的に戦うようにされたことを感謝します。一般の人が知らない神様の奥義であるキリストを握って、行く歩みごとに暗やみが崩れますように。いまは犯罪を予防できるレムナント運動の祝福と、事件と事故を通して伝道の門が開かれ、私の現場を生かす弟子を立てますように。それで、この時代に誰も解決できない問題を解決する神様がくださった権威を味わうようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(8月25日)→ 地域(区域)教材34課:感謝できる人(コロサイ3:15-17)

- ▲肉体的感謝も重要だが、心の状態が感謝がなければみな奪われる。さらに重要なのは霊的な状態だ。パウロは最も苦難が多かったが、最も感謝が多かった。
- ①大事な信仰-答えを与えられる感謝、救いをくださった恵みに感謝、福音のために苦難を受けられる機会を与えられた神様に感謝。
  - ②これから起きる未来を分かるので、感謝しながら献身することができる。
  - ③本当に謙虚な者は感謝できるのに、まことの成功は神様の計画の中にあって、まことの力は神様の働きでだけなされることで、まことの感謝は神様の恵みでだけなることであるためだ。

(4) テキコの集い(8月25日)→ 次世代

- ①教育とは、刻印されたことを変えてあげることだ(申6:4-9、1サムエル7:1-15、1列王6:8-24、イザヤ60:1-22、パウロ-会堂)
- ②教育とは根本的なことを見て変えるようにすることだ(創世記3章、創世記6章、創世記11章、使徒13章、使徒16章、使徒19章)
- ③商人文化、宗教文化、偶像文化を変えられるのは教育、学院福音化だ。
- ④結論-それで、今からレムナントの刻印されたことを変えることができる方法を開発しなさい。

(5) 伝道訓練院開講セミナー(ヨンナム圏) (8月27日)→ 伝道弟子体験のモデル

- ▲私たちがとてもささいなこと、本質から外れたことのために失敗だけしなければ使徒1:8節のみことばが成される。
- ①伝道弟子は4つの契約のモデルになりなさい-神の国(使徒1:3-答え(黙想)-いやし)、マルコの家(使徒1:14-集中/力)、使徒2:1-47(教会-24時)、ローマ16章(サミット)
  - ②伝道弟子は道しるべのモデルになりなさい-根本(マタイ16:16-、マタイ28:1-20、使徒1:3)、タラツパン(使徒1:14)、チーム働きと伝道(使徒2:9-11、41)、チームワークと宣教(使徒11:19、13:1、16:6-10、19:21)
  - ③伝道弟子は引き受けた分野のモデルになりなさい-教会学校(教師を生かす現場)、機関(withできる核だ)、地域(区域)(伝道運動と養育の核だ)
  - ④結論-神の国の3つの要素(当然/必然/絶対的であることを見なさい。聖霊の満たしを受けて5つの力を味わいなさい。証拠を持って証人として出なければならぬ。)

(6) レムナント神学訓練院開講セミナー(8月28日)→ 伝道弟子体験の指導者

- ▲みなさんがささいな感情に捕えられたり、本質を抜け出したくない話に影響を受ければ小さいことの大切さをのがすようになって、無気力、無能に陥るようになる。
- ①4種類の指導者になりなさい-使徒1:3(国/答え-みことば/いやし)、使徒1:14(集中-力)、使徒2:1-47(門-24時)、ローマ16章(サミット-指導者)
  - ②道しるべの指導者になりなさい-根本(マタイ16:16、マタイ28:1-20、使徒1:3、8)、使徒1:14(タラツパン)、使徒2:1、9-11、41、47(チームの働き)、使徒11:19、13:1、16:6-10、19:21(チームワークと宣教)
  - ③引き受けた分野の指導者になりなさい-教会学校(教師を生かせる唯一のチャンス)、機関(withが何かを正しく説明できる機会)、地域(区域)(伝道と養育の絶好のチャンス)
  - ④結論-神の国と計画と答えを得ようとするなら当然/必然/絶対的であることをしなさい。そして聖霊の満たしと5つの力を得なさい。そして証拠を持って証人として行きなさい!

(7) 伝道訓練院開講セミナー(首都圏) (8月29日)→ 伝道弟子体験のモデル

▲ヨンナム圏開講セミナーおよびレムナント神学訓練院開講セミナーメッセージを参考にしてください。

(8) 産業宣教(8月31日)→ 伝道者の生活体験(34)-重職者大学院連合礼拝(使徒2:10)

- ▲重職者の方が重職者になった理由を知らず、重職者大学院をする理由を知らないならば、事実上、答えを受けられない。
- ①みなさんが福音と人生の質問を継続しなければならない(マタイ16:13-20、ヨハネ21:15-18、使徒1:11)-このとき、天命が成されるのだ(ルカ10:1-20、使徒1:14、使徒6:1-7、使徒11:19、使徒13:1、使徒16:15、使徒17:6、使徒18:4、使徒19:21、使徒23:11、使徒27:24)
  - ②祈り訓練に対する質問をしながら祈りの答えを受ける答えを捜し出さなければならぬ(マタイ4:19、マルコ3:13-15、使徒2:9-11、使徒18:1-4、使徒18:25-26、1コリント16:19、ローマ16:3-4)
  - ③献身でなく100年、1000年、時代的答えが成される時刻表だ(使徒2:1、使徒2:5、使徒2:20、使徒2:41、使徒2:46-47)
  - ④結論-プリスカ夫婦が3つを決意した。伝道はどのようにするのか。私はどのように献身するのか。私はどのように献金するのか。みなさんが理由を知って答えだけ出せば、働きは神様がされる。

(9) 伝道学(8月31日)→ 霊性運動と重職者(使徒1:8)

- ①重職大学院-体質変化
- ②地域伝道専門キャンプ-答え-弟子

(10) 核心訓練(8月31日)→ 伝道者の生活体験(34):伝道者は始まりを正しくしなければ(使徒1:1-8)

- ▲サタンの第1戦略は、みなさんがどれだけ重要な人なのか自分自身が知らないようにさせるのだ。サタンの第2戦略は、救われたみなさんが始まりを違うようにするようにさせるのだ。先に4つのことを(使徒1:3-国-答え、使徒1:14、使徒2:1-47、ローマ16章)をもって始めなさい。
- ①そうすれば、私の困難がくびきでなく、私の翼になってしまう(使徒5:1-11、使徒11:1-18、使徒13:1-12)
  - ②このときから起きる迫害は全部正しい始まりに変わり始める。それでは私が確認しなければならないこと、待つこと、挑戦しなければならぬことが見える(使徒1:3-8、使徒1:14、使徒2:9-11、41)
  - ③大きい患難はむしろ神様の大きい恵みを見る機会になる。このとき、私が捨てること、味わうこと、取ることが見えて、神様は世界福音化の大きい門をあけられる(ピリピ3:1-21、ピリピ1:6、2:13、4:13、4:19)
  - ④結論-福音で完全に答えを出すことを望む。そうすれば絶対に揺れない。

(11) 地域(区域)教材(8月31日)→ しあわせで楽しい交わり(詩133:1-3)